

事業所名		Casa di tutti みんなのおうち				支援プログラム（参考様式）		作成日	2025 年	4 月	1 日
法人（事業所）理念		重症心身障害児・者とその家族が、住み慣れた地域で安心して生活できるように、日常生活の質の向上、社会福祉への貢献、さらに地域社会への理解・啓発をはかりながら豊かな共生社会の実現に寄与することを目的とし、重症心身障害児・者とその家族の心に寄り添い、みんなが集う家のような場所を目指す。									
支援方針		障害を抱えていることによって社会生活や経験の範囲が制限されてしまわないように配慮し、ご家族、学校(保育園・幼稚園)、地域と連携のもと、楽しみながら日常生活を送れるよう、多様な体験の場を設けて、本児の社会経験の幅を広げていく。発達段階、心身の状態に応じて活動を提案し、多様な体験の中で喜怒哀楽の感情を表出できるよう、本児の「想い」を大切にしながら、主体的に活動できるように支援する。									
営業時間		10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無		あり なし			
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	体温や呼吸状態、栄養管理など日々の健康管理を徹底し、医師の指示書に基づいた必要な医療的ケアや処置を施すことで健康的に生活できるよう支援する。発作やアレルギー、転倒など突発的な問題に対しても環境を整備し、安心・安全に日々の生活が送れるようにする。必要に応じて摂食訓練やトイレトレーニングなど身辺自立に向けた支援を行い、QOLの向上と主体的に行動しようとする意欲を育む。支援を通じて、自己決定スキルの獲得と自己肯定感の向上を目指す。									
	運動・感覚	身体機能の維持、向上を図り、行動の選択肢を増やしていく。専門士(P T)が主導となり、同じ動き、同じ姿勢にならぬよう、身体を受動的に動かし、変形拘縮を防ぐ機能訓練活動を行う。また、装具や補助具を適切に使用し、歩行訓練やストレッチなど、個に応じた活動を提案することで、体幹・上下肢の柔軟性および可動性の維持向上を図る。遊びの中にも機能訓練的要素を取り入れ、左右のバランスや身体各部位への意識を促し、また関節等を動かしていく。									
	認知・行動	「きく」「さわる」を中心とした活動を行い、敏感さの軽減ならびに目と手の協応の発達やイメージする力を育てていく。「きく」活動では、様々な音楽に触れ、曲の違いや強弱、速さなどに注目できるように促しつつ、実際に楽器にも触れ、振動や低音で五感に刺激を与えていく。「さわる」活動では、工作を中心に、感触の異なる素材の触感を楽しみながら、力を入れて押す、つまむ、はがす等、指先を使った活動に取り組み、「こうだったら、こうなる」といった因果関係を楽しみながら理解できるよう支援する。									
	言語コミュニケーション	会話による意思伝達に固執することなく、表情や手話、ジェスチャー、筆談など伝えやすい方法を尊重し、伝わる喜びや関わる楽しさを実感できるように支援する。様々な活動を通じて、自分の表現が相手に受け取ってもらえたという喜びを感じてもらい、さらに表現しようとする意欲を育み、他児や職員のいる環境の中で喜怒哀楽をたくさん感じられるように支援する。特に読み聞かせでは、新しい言葉や言葉のリズムを聞く中で、イメージが持てるよう読み進める。また、内容に興味を持ち、話し手の声や音を捉えて言葉の理解を促していく。									
	人間関係社会性	他児や職員と一緒に季節の行事や伝統的な遊び、自然と触れ合う散歩などに参加し、楽しい気持ちを共有する。集団活動の際には、「順番を待つ」「一緒にやる」「応援する」など個人活動では経験できないような条件を設定し、自分の気持ちに折り合いをつけながら活動できるように支援していく。また、積極的に散歩に出かけ、他者と一緒に身近な自然や季節の変化を体感する。日頃からできるだけ自然に触れ、花や果実、種子などの質量や形、感触、温度、香りなどを各々の価値観で体感し、他者と共有することで豊かな感性を培う。									
家族支援		保護者の就労を保障し、またレスパイトとしての機能を果たす。連絡帳や電話、個人面談にて子育て、看護、リハビリに関する相談援助を行う。希望者に施設での様子を収めた写真を配布し、日々の成長を実感できるよう支援する。				移行支援		保護者同意のもと、区、学校(保育園・幼稚園)、訪問診療・看護、訪問リハビリ、他施設と情報を共有し、住み慣れた地域で継続して、状況に応じた支援・サービスが受けられるよう生活基盤を整える。			
地域支援・地域連携		社会福祉協議会と連携し音楽イベント開催している。今までにヴァイオリン、チェロ、ヴィオラ、マリンバ、琴、篠笛、ピアノ、アコーディオン、ハーモニカ、ハープ、ハンドベルの演奏者の方にお越しいただいた。				職員の質の向上		毎月1回施設内研修実施。虐待防止委員会、感染症対策員会設置。外部研修・講習等(世田谷区人材福祉センターなど)への参加。資格取得補助。定期的なケース会議の実施。			
主な行事等		行事実績 葛西臨海水族園移動水族館(2023・2024年)、世田谷警察署パトカー乗車体験(2023年)、東京消防庁消火体験(2023年)、ぐるーびあい リトミック体験(2023年)、Hālau Hula Wehi I Ka Ua Noe フラダンス鑑賞(2024年)、世田谷マジックプラザ 手品鑑賞(2024年)、演奏サークルTherapy Performance Circle 演奏会(2024年) など									